

島根 更生保護

NO.208

(令和3年1月1日発行)
島根県保護司会連合会

〈島根更生保護データ〉

保護司総数	507人
保護観察事件	109件
生活環境の調整事件	191件

(2.12.1現在)



安来節どじょうすくい出迎え隊（安来市提供）



艱難汝を玉にすーコロナ禍における支え合い・助け合い

中国地方更生保護委員会

委員長 田中一哉

明けておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症による制約下にあっても、島根県の保護司をはじめ更生保護関係者の皆様には、困難さを増す諸活動に日夜ご尽力いただいておりますことに、心から感謝と御礼を申し上げます。

現在、パンデミックの影響は社会全体に及んでいます。とりわけ社会の脆弱な層への影響は甚大です。刑事司法と地域社会の狭間で必要な支援を受けられず再犯を重ねるとされる刑務所出所者等に対しては、地域の様々な関係機関・団体と連携しながらの手厚い支援がいよいよ求められます。「再犯の防止等の推進に関する法律」及び国の「再犯防止推進計画」の下、地方公共団体の一層のご理解を得て、地方再犯防止推進計画の策定が強く望まれます。

さて、昨年は、未知のウイルスとの遭遇を契機に、

多くのことを考え、学ばされました（この間の医療・保健関係者の献身的な努力は片時も忘れることはできません）。これまで当たり前であった多くのことが実はかけがえのないものであること、人は直接の出会い、集い、触れ合いにより支え合っていることにも改めて気付かされました。多くの方々が、このような時だからこそ、人と人が助け合う大切さに思いを新たにされたことでしょう。そして、ソーシャルディスタンスの徹底等やICT、SNS等の活用により、種々の制約を乗り越えて、支え合い・助け合いに努めているのは素晴らしいことです。

「艱難汝を玉にす」と申します。昨年来の苦難が忍耐を、忍耐が練達を、練達が希望をもたらし、ポストコロナの時代において更生保護の活動がより輝きを増すことを強く信じ、引き続き「誰一人取り残さない」地域社会の実現を目指し、汗を流して参りたいと考えます。

末筆ながら、この1年、島根県の更生保護関係者各位のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



新年の挨拶

島根県保護司会連合会

会長 井谷 耕造



昨年は世界中が新型コロナウイルス禍に席卷され生き辛さを感じる一年となりましたが、歳が改まり今年こそ良い年にと祈るばかりです。

ところで、島根県におきましては懸案の再犯防止推進計画が着々と進行し、今年の6月にも策定されるようにお聞きしております。

これにより県下の自治体におきましても、再犯防止推進計画の推進に大きな弾みとなり更生保護事業が前進するものと確信しております。

この再犯防止推進計画におきましても、我々保護司の働きに大きな期待が懸けられていると承知しております。

更生保護女性会、BBS会、更生保護法人しらふじ、就労支援事業者機構、雇用主会等の関係諸団体との連携を密にし、ともに手を携えて更生保護事業の推進を図りましょう。

ところで島根県におきましては、お陰様で保護司の定数を維持しておりますが、全国的には40年振りに4万7千人を下回るとともに70才以上の保護司の数が35%を占めております。このことから、わが県におきましても現状に満足することなく保護司の安定的な確保を目指し、緊急事態に対処する方針であります。

「禍福は糾える縄の如し」、「人間万事塞翁が馬」の如く悪いことの次には良いことが待っているとの古来からの格言を信じ、この大難を乗り越えましょう。



謹んで新年のご挨拶を申し上げます

松江保護観察所

所長 穂坂 英樹

島根県保護司会連合会

会長 井谷 耕造

更生保護法人 島根保護観察協会

理事長 古瀬 誠

更生保護法人 しらふじ

理事長 大野 美雄

島根県更生保護女性連盟

会長 山脇 里美

島根県BBS連盟

会長 春日 智徳

特定非営利活動法人 島根県就労支援事業者機構

会長 古瀬 誠



受章者

更生保護功労による
叙勲・褒章（敬称略）

瑞宝双光章 杉 田 雅 弘（浜田）
藍綬褒章 加 本 恂 二（雲南）



受章にあたって

浜田地区 杉 田 雅 弘

このたび令和2年秋の叙勲に際しまして、はからずも瑞宝双光章拝受の榮に浴し、身に余る光栄と有り難く感謝しているところでございます。この栄誉は偏に松江保護観察所、関係機関の皆様をはじめ、保護司の皆様、地域の皆様温かいご指導ご高配の賜と厚く御礼申し上げます。

顧みれば、平成4年何もわからないまま保護司を

拝命して以来28年余り、多くの対象者と接してきましたが、今思えば、決して充分なことができなかったと思ひ返されますが、そんな時も保護観察所の皆様また多くの皆様にお支えいただいたことで微力ながら更生保護の道程を共に歩むことができました。これまで続けてこられたのも皆様方のご支援の賜と重ねて御礼申し上げます。

今後は、このたびの受章を機にさらに身を引き締め、この栄誉に恥じぬよう一層精進し更生保護活動に微力ながら努力する所存でありますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



褒章受章にあたって

雲南地区 加 本 恂 二

この度、「令和二年秋の褒章」に際し、予期もしなかった藍綬褒章の榮に浴することになり、身に余る光栄と、感謝感激するとともに汗顔の思いでございます。

これも偏にご指導戴きました松江保護観察所をはじめ関係機関各位、諸先生方、並びに地域の皆様方のご理解とご支援の賜物と心から感謝とお礼を申し

上げます。ありがとうございました。

昨年から引き続く新型コロナウイルス感染拡大の影響により、犯罪の事例や対象者の生活環境も大きく変化し、都市・地域を問わず仕事・日常生活に対する適切な対応が求められており、私どもの活動も多岐にわたり一層重要性を増してきています。

今後とも、犯罪のない安全・安心な明るい社会づくりに努力して参る所存でございます。引き続きご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

令和2年度 島根県更生保護事業関係者顕彰式典

令和2年11月19日(水)、松江市総合福祉センターに約40名の更生保護事業関係者が参集し、中国地方更生保護委員会田中委員長や島根県健康福祉部を始めとする来賓の御臨席のもと、島根県更生保護事業関係者顕彰式典が開催されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症禍のため、例年の3分の1程度に規模を縮小して、会場内での間隔を空けた着席、国歌斉唱、万歳三唱を控え、例年出席していただいていた多くの来賓は、お祝いメッセージ読み上げに代えていただくなど、徹底した感染防止対策の中、執り行われました。開会後は、島根県保護司会連合会井谷会長の式辞、松江保護観察所穂坂所長の挨拶に続いて、永年更生保護関係事業に多大な功績のあった387名の更生保護事業関係者に表彰状及び感謝状が授与されました。表彰終了後、松江地区保護司会山本恭治保護司から受彰者を代表して謝辞がなされ、犯罪や非行に陥ってしまった人たちの改善更生と犯罪の予防にこれまで以上に力を尽くし、努力したい旨の抱

負が述べられました。その後、来賓からの祝辞、来賓紹介、お祝いメッセージや祝電披露と続き、閉会となりました。少し寂しい式典となりましたが、今回から、当県保護司会連合会で広報資材として作成したバックボードを背に受賞者お一人お一人に記念撮影を行いました。



井谷県連会長
式辞



国歌斉唱



穂坂松江保護観察所長あいさつ



法務大臣表彰伝達



全国保護司連盟理事長表彰受彰者



受彰者代表謝辞



法務大臣表彰受彰者



法務大臣感謝状受彰者

令和2年度 各種表彰受彰者 (敬称略)

法務大臣表彰

〔保護司〕

鷗 鶴 善 政 (松江)
安 部 吉 輝 (松江)
大 野 美 雄 (松江)
山 本 恭 治 (松江)
安 部 良 江 (安来)
土 谷 文 江 (雲南)
勝 島 徹 正 (出雲)
和 田 整 (大田)

圓 山 達 雄 (邑智)
江 木 修 二 (浜田)
岡 崎 卓 子 (益田)
田 中 一 隆 (隠岐)

法務大臣感謝状

〔更生保護女性会員〕

山 中 洋 美 (飯石)
大 谷 民 子 (平田)

全国保護司連盟理事長表彰

〔保護司〕

荒 川 益 雄 (松江)
大 和 史 明 (松江)

多 賀 久 (雲南)
清 原 樹 (雲南)
岸 篤 彦 (出雲)
川 上 孝太郎 (大田)
山 根 満 江 (邑智)
藤 田 厚 (浜田)
中 村 勇 (益田)
大 庭 完 (益田)
大 内 宗 泰 (益田)
田 中 勝 治 (益田)
〔内助功労者〕
井 谷 喜里子 (松江)

全国更生保護法人連盟理事長表彰

山 本 壽 子 (しらふじ)

日本更生保護女性連盟会長表彰

〔更生保護女性会員〕

青 山 雅 子 (鹿島)
三 浦 ミナコ (江津)
中 村 俊 子 (鹿足)
本 多 國 子 (隠岐)

日本BBS連盟会長表彰

〔BBS会員〕

安 達 征 夫 (出雲)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえた 保護観察対象者等との面接実施上の留意点について

面接前のチェック項目

- ☐ 2週間前から今日まで、平熱を超える発熱（目安37.5度）はありませんか？
- ☐ 咳、のどの痛みなど風邪の症状はありませんか？
- ☐ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）はありませんか？
- ☐ 嗅覚や味覚の異常はありませんか？
- ☐ 体が重く感じる、疲れやすいなどの症状はありませんか？
- ☐ 新型コロナウイルス感染症陽性と判断された人との接触はありませんか？
- ☐ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方はいませんか？
- ☐ 過去14日以内に、政府から入国制限を受けたり、入国後の観察期間を必要とされている国・地域へ渡航したこと又は当該国・地域からの入国した人と接触したことはありませんか？



面接実施上の留意事項

- ★面接する前に、「面接前チェック項目」の内容について確認してください。
- ★感染症の罹患を疑う事項がある旨の連絡があった場合は、面接を延期するか代替手段をとり、必要に応じ、保健所への相談や医療機関での受診について助言してください。
- ★面接の前には、手洗い・手指消毒を励行してください。
- ★面接時は、必ずマスクを着用してください。
- ★面接中の室内は、30分ごとを目安に窓を開けて換気してください。
- ★面接中は、距離を最低1メートル空け、真正面に座ることを可能な限り避けてください。
- ★面接後は、ドアノブ、椅子、机等の手が触れる場所について、塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）を薄めたもので拭き取るなどして消毒を行ってください。



更生保護の心を広め、暖かな人間愛を届けたい 第60回「愛の図書」贈呈式を開催

令和2年12月4日、松江保護観察所会議室において、島根県更生保護女性連盟主催による「愛の図書」贈呈式が行われました。これは、子どもたちや罪を犯した人たちに、「感動する心」や「人を思いやる心」を培ってほしいとの願いから、地域の方々から頂いた募金で矯正施設や児童相談所等に図書カードを贈呈している運動で、今年で60回を迎えます。

贈呈式では、来賓に、島根県保護司会連合会長を迎え、島根県知事からはお祝いのメッセージをいただき、島根県内からお招きした矯正施設や児童相談所、更生保護施設等の代表者に、島根県更生保護女性連盟山脇里美会長から図書カードが贈呈されました。

贈呈先の松江刑務所や浜田児童相談所からは、寄贈された図書カードで購入した図書の紹介や活用状況の報告がありました。

なお、当日の贈呈先は次の10の施設です。



贈
呈
先

松江刑務所・島根あさひ社会復帰促進センター
松江少年鑑別所・わかたけ学園・中央児童相談所
出雲児童相談所・浜田児童相談所
益田児童相談所・更生保護法人しらふじ
島根県女性相談センター

ふるさとの原風景

邑智地区 芦 矢 修 司

視点

焦点

都会の大企業に勤めていた近所のTさんが、定年を機にふるさとに帰ってきた。彼は、農業を営む同居の兄とは趣を異にし、車庫の補修に取りかかり、重機を購入して家周りを整地したり、小旅行やゴルフを楽しんだりしている。彼と顔を合わせる度に、仕事ぶりを賞賛しつつ、先輩風も吹かせている。だが、機械のことでは向こうがプロ。教わることも多い。

先日、家裏が、樹木などを除去して整地され、積年のゴミも片づけられていて、他家ながら清々しい気分になった。「小さいころ、あの部屋から見る眺めは最高だなあと、親父と話していたんですよ」と、彼は懐かしそうにつぶやいた。幼少期に父親と共感した風景が、「ふるさと

の原風景」として、彼の心に刻まれているのだと思えた。

私が、まだ小学校に入っていない頃のこと。近くの宮の森から

我が家に射しこんでくる朝日が、なんとも美しく、「お父ちゃん、はよ来てみんさい」と父のもとに駆けた。父はすぐにカメラを手に、シャッターを切ってくれた。白黒写真だった。今も大切にアルバムに収められている。それは「ふるさとの原風景」として、父との淡い思い出とともに私から消え去ることはない。ふるさとを離れて暮らす我が子たちに聞いてみた。それぞれに、やはり、特別な懐かしい風景があった。

すべての人に、たとえどんな境遇にあっても、幼少期に温かな原風景が刻まれることを切に願いたい。



子供達の元気な声

大田地区 M・O

大田地区保護司会では毎年、社会を明るくする運動月間の初日に大田市役所玄関先に於いて、市長に総理大臣のメッセージ伝達式を行いその後、東部・西部と二日間で市内の小学校（16校）、中学校（4校）及び、各町のまちづくりセンター、たまに保育園等を廻り、社明のリーフレットとキズテープ、ポスターを配布しながら市役所の担当の方と車2台で訪問します。

各学校では「社会を明るくする運動」作文コンテストの依頼も直接、校長先生又は、教頭先生にお願いをしています。だいたいどの地区に行っても先生方と顔見知り、知り合いの方が多く毎年あたたかく迎えてくれます。生徒達も出会えば大きな声であいさつをしてくれます。今年は

新型コロナの影響で大勢での訪問が出来ない為、各地区で手分けをして個別に配布と作文のお願いをしました。次回の社明運動の時には安心して学校訪問が出来て子供達の元気な声が聞ける様に願うばかりです。

平成28年に大田市役所の協力により、更生保護サポートセンターが開所となり、9名の企画調整保護司が交代で事務をしています。初めは何をすれば良いのか分かりませんでした。社明のときの配布物の仕分けとか書類作成、整理とか皆で少しづつ分担しながら出来る様になり、今まで一番大変だった事務局の多少の負担軽減につながればと思っています。

第70回 “社会を明るくする運動”



誰もが平等な社会へ

小学生の部

島根県・安来市立十神小学校 6年
大屋 穂波

最近、耳にしたニュースで特に私の心に残ったのは、五月にアメリカ合衆国で黒人男性が白人警官に膝で首を圧迫され亡くなった事件です。

私はこの事件を知った時、悲しみと同時に怒りがこみ上げてきました。そして同じ人間なのに肌の色や民族、宗教などの自分の偏見で他人を差別するのは不公平だと思いました。しかし、私も以前に人としてやってはならないことをしたことがあります。

私の市では毎年、オーストラリアのブリスベンのある小学校と交換短期留学をしており、私の家も四年程前から留学生の受け入れをしています。それは、初めて留学生の受け入れをすることになった小学校低学年の頃の事です。ホームステイの受け入れ説明会で私の家にやってくる子の肌が黒いとわかった時、私は見た目で

「白人の子がよかったなー。」
と言ってしまいました。低学年の私は、それが相手を傷つける言葉だなんて想像もしていませんでした。

しかし、実際会ってみると、とてもフレンドリーで優しい子でした。私は、白人だから文化がすぐれている、黒人だから劣っているという差別をしていた事に気が付き、自分自身を恥じました。彼女の両親はパキスタン出身で、現在はオーストラリアで公認会計事務所を営んでいます。彼女自身もすごく努力家でした。その後私の家には、もう二人の女の子が泊まりにきましたが、どの子も個性豊かな人達で、その特技や考えを知るとはとても勉強になりました。

この失敗から私は、それぞれの国にそれぞれの国民性があり、肌の色には関係ないすてきな個性があることを学びました。私は世界の人々ともっとつながるために、毎日英語学習をしています。何度もスランプも

ありました。今はそれに加え、週一回小学校に来られるALTの先生と英語で会話しています。私は先生と会話するのがとても楽しみです。

世界では人種差別だけではなく様々な差別が残っています。

私が、特に深刻だと思ったのが更生者への差別です。更生者は、周囲の人の支援があるからこそ、立ち直りの道に進めるのだと思います。支援がなければ、更生者は、更生できず、「負のサイクル」におちいつて、再犯につながってしまいます。そうならないためには、更生者を受け入れる雇用主や周りの人の暖かい目が必要です。例えば地域行事にさそってみたり、あいさつしたりするだけでも、更生者は人と「つながり」を持つことができます。

私は差別をなくすためには二つのことが必要だと思います。一つ目は差別について正しく学ぶことです。差別について学ぶことで、

「あの人は悪い人だ」

「あの人は劣っている」

という偏見をなくし、地域全体の「輪」をつくることのできるからです。二つ目は過去にあった差別について語りつぐことです。差別を二度とくり返さないように伝えることは、未来を平和にすることにもつながります。私は、この二つをしていくことで差別はなくなっていくと思います。

私は一人一人の個性を認め合える世界になってほしいです。差別をなくすために今の私にできることは少ないかもしれないけれど、色々な人と関わることで、自分の幅を広げようと思います。そして人と人とが手を取り合い、助け合える社会を築き、やがては世界平和にこうけんでできる大人になりたいです。

第70回“社会を明るくする運動”作文コンテスト入賞者

【小学生の部】

最優秀賞

第70回 “社会を明るくする運動”

島根県推進委員会委員長賞（1位）

『誰もが平等な社会へ』

安来市立十神小学校 6年 大屋 穂波

優秀賞

島根県保護司会連合会長賞（2位）

『心によゆうをもつこと』

出雲市立湖陵小学校 5年 大國こはな

更生保護法人島根保護観察協会理事長賞（3位）

『犯罪のない明るい社会を目指して』

浜田市立原井小学校 6年 柴村さくら

山陰中央新報社賞

『心に明りをともし仕事』

大田市立北三瓶小学校 6年 山田 千里

『みんなが幸せな町へ』

隠岐の島町立都万小学校 5年 安部 七菜

島根県更生保護女性連盟会長賞

『犯罪や非行のない社会をつくるために』

安来市立赤屋小学校 6年 近藤 志穂

『あいさつで社会を明るくしよう！』

松江市立鹿島東小学校 6年 金崎 勇駕

島根県BBS連盟会長賞

『犯罪が起こらない世界にするには』

奥出雲町立阿井小学校 6年 石原陽菜花

『ストレスを生まない社会』

吉賀町立六日市小学校 5年 内田 寿々

作文コンテスト島根県最優秀作品



『まずは私から』



中学生の部

島根県・浜田市立旭中学校 2年
堀 さくら

毎日のように起こる事件や事故。私は家ではそこまでニュースを見ないが、暇なときにテレビをつけると、その日に起きた事件が紹介されている。けれど、事件について、同情や、批判をしても、自分の中でどこか他人事のように考えている。

正直、「社会を明るくする運動」と聞いて、私ができるようなことはあるのか、という疑問が頭に浮かんだ。事件にはどこか他人事のように思えるし、地域に対しても何かできることはあるのか、と考えても、なかなか思いつかなかった。でも、私には体験できて他の人には体験できないこと、と考えたとき、自分の身近にそのヒントはあった。

私の住んでいる町には、「島根あさひ社会復帰促進センター」というところがある。日本では珍しい、PFI方式という、民間が施設の管理をする刑務所だ。友達にも、刑務官の子供が多い。刑務所、と聞いても、何の関わりがあるのか、と思うかもしれないが、私の地域では、珍しい取り組みがされている。それは、刑務所にいる人達が、小学校と中学校に、一か月に一回程度、パンを作って提供する、というものだ。刑務所を出てから、職業に就けるように練習をしているらしく、そこで作ったパンを小中学校に提供していた。学校の給食でパンが出ることはほとんどなく、その取り組みが始まった時、とても嬉しかったのを覚えている。

私はそれまで、刑務所に入っている人達は罪を犯したんだから怖い人ばかりなんだろうなという考えを持っていた。テレビ番組でも海外の刑務所体験のよう

なものがあり、世の中の人のほとんどがそう思っているのではないだろうか。だから、その取り組みを聞いた時、嬉しさと同時に驚きもあった。中学校に入ってから、職員の方を通して手紙のやり取りもした。その手紙には、「生徒の皆さんに美味しいと言ってもらうことが嬉しい」や「社会に復帰した時のために、今は頑張っている。」という内容が書かれていた。

犯罪を犯す、ということはしてはいけない。しかし、考えを改め、社会の役に立ちたいと考えている人を、

「犯罪を犯した人は怖い、何をするのか分からない」といった偏見で、否定するのは違うと思う。そこで否定するのか、手をさしのべるのかで、更生しよう、という気持ちは変わってくると思う。

犯罪や非行がなくなることの原因は、周りにも原因があると思う。事件の犯人で、前科があるということも少なくない。犯罪を、二度も三度も繰り返してしまうのは、その人だけに原因があるのか。私達には、罪を犯してしまった人を、更生して社会復帰しやすくする社会づくりが必要だと思う。一人一人がそう考えるだけで、生きやすさに大きな違いがあると思う。

日頃からのあいさつ、地域行事への参加など、まずは私にできることから心掛けていきたい。そういう小さなきっかけから、明るい社会につながっていく。他人事として考えるのではなく、自分から動いていきたいと思う。

応募総数1125点（小学校674点
中学校451点）

【中学生の部】

最優秀賞

第70回“社会を明るくする運動”
島根県推進委員会委員長賞（1位）
『まずは私から』

浜田市立旭中学校 2年 堀 さくら

優秀賞

島根県保護司会連合会長賞（2位）
『おこっべと』

浜田市立旭中学校 3年 岡本 陽菜

更生保護法人島根保護観察協会理事長賞（3位）

『インターネット上の誹謗中傷について』
隠岐の島町立都万中学校 2年 門脇 秋乃
山陰中央新報社賞

『私が考えるいじめ』

大田市立北三瓶中学校 1年 安井菜奈子
『自分を変えられるのは自分だけ』
飯南町立頼原中学校 2年 渡辺 夏未

島根県更生保護女性連盟会長賞

『「うわさ」と向き合う』

隠岐の島町立五箇中学校 2年 藤田龍之介

『コロナ禍の中で』

吉賀町立柿木中学校 3年 齋藤のどか

島根県BBS連盟会長賞

『近所の付き合い』

松江市立第四中学校 2年 園山 詩乃

『大きな背中』

出雲市立大社中学校 2年 加持 彩花

*【中学生の部】岡本陽菜さんの作品「おこっべと」が日本BBS連盟会長賞（優秀賞）に選ばれたことをお知らせします。
作品は、紙面の都合上、令和3年4月1日発行の当機関紙（209号）に掲載する予定です。

シリーズ就労支援
第3回

浜田地区協力雇用主会の現況

協力雇用主会会長 浦田 明彦



浜田地区協力雇用主会は、平成29年7月に浜田市内及び江津市内の13事業所の参加を得て設立し、現在は27事業所が参加する会となっており、業種別では、製造業8社、建設業12社、サービス業6社、卸小売業1社となっております。

活動としましては保護司会の協力も得つつ、合同研修会を中心に実施しているところであり、最近では浜田市健康福祉部の課長さんによる「更生支援と再犯防止の取組みについて」と題した講話を拝聴し、意見交換を行いました。また、浜田市には島根あさひ社会復帰促進センターがあることから、浜田市（旭支所）の主催により多くの更生保護関係団体も参加して勉強会が開催されており、出所者を受け入れ就業されているLCC株式会社の代表取締役による「出所者の就労状況等」と題した講演や、センターの取組み等についてお話のあった出所者支援フォーラムにも参加し、出所者支援の現状についての理解を深めるこ

とが出来ました。

協力雇用主会とは、犯罪や非行歴のために仕事に就くことが難しい人々をその事情を理解したうえで雇用し、立ち直りを支援する事業主が集まった会ではあるのですが、協力雇用主会より事業主に対して求人の話が行われると思っておられる事業主もいらっしゃいますので、ハローワークとも今後情報交換などしていきたいと思っています。

今年に入ってから、コロナウイルスの感染拡大により活動は自粛し、ほぼ休止状態ではありますが、今後も引き続き協力雇用主会会員の意見を反映しながら、各団体と連携し、協力をしながら活動をしていきたいと思っています。

今後ともよろしく願います。



ご支援ありがとうございました

(島根保護観察協会)

敬称略

高橋日出男 野上 雄護 矢富 謙司

杉田 雅弘 島根県更生保護女性連盟

松江地区更生保護女性会

令和2年12月2日、松江保護観察所において、島根保護観察協会の事業に多大なるご功績のあった株式会社「庭の川島」代表取締役会長 川島昇氏に対して、穂坂松江保護観察所長から法務大臣感謝状が伝達されました。



保護司の異動

〔退任保護司〕 8名

(令和2年11月30日付)

木下 英 樹 (松江)
山 中 洋 美 (雲南)
三 弘 道 (雲南)
花 田 久美子 (出雲)
坂 本 圭 祥 (出雲)
山 根 満 江 (邑智)
椋 木 亮 治 (益田)
蔵 本 知 宏 (益田)



〔新任保護司〕 13名

(令和2年12月1日付)

荒川 美 典 (松江) 岡 田 公 司 (浜田)
境 川 一 司 (松江) 沖 田 治 子 (浜田)
川 島 樹 子 (雲南) 押 越 田 弘 (益田)
渡 部 香代 (雲南) 大 田 隆 樹 (益田)
尾 添 隆 (出雲) 藤 井 誠 (益田)
藤 井 哲 眞 (出雲)
赤 穴 清 (邑智)

敬
吊

下記の方がご逝去されました。ご功績を偲び謹んで哀悼の意を表します。 敬称略

保護司 米田 宣雄 (出雲) (令和2年10月6日逝去)

保護司 森明 隆 (浜田) (令和2年11月25日逝去)

元保護司 上田 眞實 (安来) (令和2年10月4日逝去)

元保護司 南原 慎人 (邑智) (令和2年10月31日逝去)

死亡者叙位・叙勲

敬称略

従六位

上 田 眞 實 (安来) (令和2年10月4日付)

特定非営利活動法人島根県就労支援事業者機構
人事異動について

令和2年11月1日付けをもって次のとおり異動がありましたのでお知らせします。

事務局長 新) 錦織 宏樹 ← 旧) 山本 登

(表紙写真説明)

安来市の有志によって結成されたボランティア団体で、毎週日曜日に安来駅に到着する列車を安来節で出迎えています。本場のどじょうすくい踊りを披露したり記念撮影をしたりして観光客に喜ばれています。